

緑によせて

全国植樹祭

第四十七回全国植樹祭が東京都を主催者として、天皇后両陛下が行幸啓遊ばされる中、五月十九日、会場を「山の森会場」「街の森会場」「海上の森会場」の三会場に分け、盛大に開催された。席上、当神社は、緑化功労者（自然保護部門）として、東京都知事からの表彰に浴した。もともと緑の山中に鎮座坐します神社であり、毎日が緑との付き合いの中でその生活がなされており、特別にこれと言うべき事績を上げた事もなく、はなはだ恐縮に感じられたが、折角の機会でもあり、ありがたく、お受けすることとし、「山の森会場」に神社総代が出席し、表彰を受けるとともに記念植樹を行った。「東京都森隣都市宣言」が採択され、都市と緑、都市近郊における緑について新たな考えを学ぶことができた。

この全国植樹祭を寿ぎて、前夜、赤坂ニュープリンスホテルに天皇皇后両陛下をお迎えして、都知事主催のレセプションが催され、この席にも招待を受け、出席した。その中で畏くも両陛下より被表彰者個人個人に対して、お言葉を賜る栄に浴し、皇后陛下より「神社の運営、緑の保全に専心当たるよう」との尊いお言葉を拝戴した。畏れ多くただ只管その大御心に添うべく感涙に咽びつつ、会場を下った。

秩父杉

一昨年九月高千穂へ旅して、高千穂神社に参拝する機会を得た。参拝後、宮司より境内の案内をいただいたが、境内に聳ゆる三本の杉に話しが及び「この杉は、鎌倉時代將軍頼朝公の名代として畠山重忠公が参拝の砌、鎌倉から持参して手植された」と伝える秩父杉です」と

のお話しに、その杉の木を改めて仰ぎ、周囲のそれと異なる樹相を見て、大変に驚いた。

宮司代表役員 黒田 忠雄

なぜならば、御嶽神社と畠山公とは深い因縁で結ばれており、当社で所蔵する国宝「赤糸威大鎧」は、畠山公が戦勝を祈願して寄進されたものと伝え、一時期、御嶽山上に山城を築いたとも言われる武将であったからである。又、当神社周辺にわずか数本残る古杉にその樹相が酷似していたからであった。

当神社周辺の杉の古木は、元禄十二年（一六九九）の強風の被害をまぬがれ残ったものと、元禄期の頃植付けられたと想定されるものに二分されるが、前者はわずかに残るのみとなり、後者も昭和四十一年の台風により、その殆どを失ったが、樹相は明らかに前者と後者とでは異なるように判断できる。

大分県高千穂に生育する秩父杉と東京の御嶽山に生育する杉とが、一本の糸ではるかに結ばれるとすれば、これは畠山公以外全く考えられないことである。杉の幼苗をこの御嶽山付近から求められたのか、あるいは畠山公居城周辺で求められた幼苗を高千穂へも、この御嶽山へも奉納されたものかなどなど、遠い鎌倉時代、秩父の庄司を務められ、「清廉の武将」と称えられた畠山公の活躍の様に思いをさせながら高千穂神社を後にした。

以上緑に関わることを書き連ねたが、現代の社会生活の中における緑について、改めてその重要性等を痛感するものであり、当神社としても境内林の保護、育成を始めて御嶽山の自然の保護に微力を尽す所存である。

御嶽神社参拝登山の思い出

神木講々元 山根 信孝

明治十年及び明治十五年の資料によれば、豊穂講と称し現在の多摩区長尾と宮前神木本町とを合わせた長尾村の村民一同がこの講員であり総勢百二十名前後であったようで、大正初期までこの講が続いていたが、何が原因で別れたのかはわからない。

私が物心がついてからは、昭和十二年起立された武蔵国御嶽神社大々講で講元猿權作氏以下三十六名で構成され、これを六の組に分けて代参を行い、区切りをもて大々神楽を奏上し、神社の発展と家運の隆盛を祈禱してきたものである。講元話人講員の方々は、世話人であった山根の父孝治と同年輩位の方ばかりで講社のはもよとり、地区の慣習や交際等々御指導を受けた方々ばかりです。それから六十余年は矢の如く速く、猿渡權作氏より石坂岩信氏、猿渡勝之助氏へと講元も変わりました。昭和四十年から四十九年まで、講元を努められた猿渡勝之助氏が昭和四十九年秋、残念にも事故がもとで入院なされ、翌昭和五十年二月看護の甲斐も空しく帰らぬ人となってしまいました。考える余地もなく皆様の総意により山根が講元となり現在に至ったわけでありませぬ。

私は父の代理で徒歩で登山をした事があります。二人ではまけない杉の巨木の連なる山道をゆっくり登りました。約半分登った所に、中の茶屋があり休憩地で、この付近一帯は千坪位の畑地がありましたが、やがて植林され現在見事な杉林になっております。今ではケープルの窓からこれらの杉の芯を望みながら登山をしております。春の大雪の際の雪折れの大被害や、神社周辺の大木が嵐で倒れるなどありますが、後の補植や手入れもよろしく、見事な山の景となって参りました。結講石二十年記念碑建立から十年も過ぎました。いよいよの神社の御繁栄を祈って止みませぬ。

